



四日市市立朝明中学校第3学年
学年通信第14号 2023/10/12 (木)

～友と和し、学び合い、心と体を鍛え 未来へ羽ばたこう～

「体育祭」を「日常」に

いつの間にか、めっきり涼しくなり、あの情熱的な「体育祭」が思い出に変わりつつあります。中間テストが終わり、第2回の実力テスト結果が返され、明日は第3回の実力テスト。そして、次は文化祭練習へ。

これが3年生です。(ちょっとゆっくりしたい。)と思っても、それがなかなか叶わない毎日…実感しているのではないのでしょうか。

今更ながら、振り返らせてください。体育祭は、本当に熱かった！半日開催とはいっても、その中にギュッとすべてが濃縮され、見ている人に感動を与えるものでした。なにより感じたのは、朝明中学校生徒の一体感！大縄の縦割り練習は数回のものでしたが、後輩との距離を近づけるには十分なものでした。ちょっと近寄りがたかったはずの先輩との練習は、1、2年生を奮起させましたね。「先生！1年生、10回跳べたよ！」と興奮気味に話す人。「3年が縄回ししたら、めっちゃ跳べるようになった！」と少し得意げに教えてくれる人。顔がまさに「先輩」していました。そして、当日。1、2年生のすべての競技に、大きな声援を送るみんな。そして、3年生の全ての競技に大興奮で声援する後輩たち。涙が出そうになりました。これが、「学校」だな。と思いました。

当たり前ですが、1年生がいて、2年生がいて、3年生がいて、先生たちがいる。ただ「いる」のではなく、それぞれの役割をもって存在している。それによって、「学校」が成り立つのです。普段、学校から遠ざかっていた人たちも、この日は全員参加していました。きっと、「学校」の楽しさが伝わったと思います。(これから、待ってるからね。)いろいろな意味で、素敵な素敵な体育祭でしたね！

日常に戻った今。

そこに、あの情熱はありますか。そこに、あの先輩の顔は残していますか。

先日、文化祭には少し気が早いかもしれませんが、勉強の息抜きにもなるかと、学年合唱練習を行いました。1回目、2回目、3回目…國安院先生のご指導もあって、歌はどんどんよくなっていきました。そのとき、國安院先生がおっしゃいました。

「本当に歌うたびによくなっていくね。ただ、忘れないで。次歌うとき、また、元に戻ってはいけないよ。みんなは、すぐに忘れてしまうところがあるから…」

大きく頷いてしまいました。修学旅行の団結も。学年集会を聴く真剣さも。進路に向かう熱意も。確かにみんなの中にはあるはずなのに。それを「忘れたかのように」日常は、まだ自立できた状態とはいえません。「静かにしよ。」「もう座ろ。」「時間守ろ。」

「ルール守ろ。」仲間や先生に声を掛けられるまで、当り前ができない人がいます。見るたび「なぜ？」と思います。みんなには、立ち止まったり、ましてや、後戻りしたりする時間はもう残されてはいません。

一緒に走り、跳び、互いに応援し合った仲間を大切に想うなら
進路に向けて、不安を抱えながらも真剣に進む仲間を本当に大切に想うなら

自分の力で前進してください！！

「体育祭」は決して思い出だけのものではありません。みんなの日常に生かすものです！さあ、残り5か月。またここから、一緒にがんばろう！！

ここにみんなの「真の姿」がある！
忘れないで！！

後5か月 支え合って進もう！





👁️模範演技、かっこよし！

👂放送部？ も がんばった！！



今年のみんなも かっこよかった！！



先生もかっこよし！



美術部さん
ありがとう！



👉 あれ??

1 組



2 組



3 組



4 組



5 組

